

「2025 年日本国際博覧会
夢洲乗降用仮設浮棧橋設置および撤去並びに浮棧橋等運用業務」仕様書

1. 件名

2025 年日本国際博覧会 夢洲乗降用仮設浮棧橋設置および撤去並びに浮棧橋等運用業務

2. 業務概要

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（以下、「本協会」という。）は、2025 年日本国際博覧会（以下、万博という。）開催期間中における水上からの来場者の安全かつ円滑な来場の実現に向けて、水上輸送乗降用ポンツーン（以下「浮棧橋」という。）の設計、設置等を行うとともに、浮棧橋及び公共浮棧橋の運用を行う。

本業務は、浮棧橋の安全確保や船舶との衝突事故防止、船舶の利用調整を含めた安全かつ効率的な管理運営を行うため、浮棧橋の設計から設置、撤去に加えて、構造物や利用者の安全管理等の運用面も含めた、一体的な業務とする。

3. 業務目的

本仕様書に定める履行場所に、旅客船の乗降用に使用する浮棧橋及び乗降の際に必要なスロープを設置するとともに、万博開催期間中における前述の構造物や周辺の待合室等と公共浮棧橋における管理及び旅客誘導等の業務を行う。また、万博開催期間終了後に設置物について撤去するものである。

4. 総則

- (1) 本仕様書は、「2025 年日本国際博覧会 夢洲乗降用仮設浮棧橋設置および撤去並びに浮棧橋等運用業務」（以下「本業務」という）に適用する。
- (2) 本協会からの入手資料や業務で作成した資料等、本業務により知り得た情報の一切は、本業務完了の時点を持って、返却すること。ただし、本協会から許可を得た場合はこれに該当しない。
- (3) 受注者は、作業に際し協議を行う関係諸官庁等と協調を保ち、本協会担当者の指示を受けて正確かつ誠実に作業を行うこと。また、諸手続きに必要な資料を調整・準備すること。
- (4) 受注者は、契約の履行にあたり、適用を受ける関係法令を遵守し、業務の円滑な遂行を図ること。
- (5) 受注者は、作業中に生じた諸事故に対してその責任を負い、事故が発生したり、損害賠償の要求があったりしても、本協会はその責任を負わないものとし、受注者において処理すること。
- (6) 作業が完了すれば、直ちに完成届と成果品を提出して本協会の検査を受けること。

5. 履行期間

- ① 浮棧橋及びスロープ賃貸借契約：契約締結日から 2025 年 10 月 31 日まで
※借入期間：：2025 年 1 月 6 日から 2025 年 10 月 13 日まで
※設計及び設置期間：契約締結日から 2025 年 1 月 5 日まで
※撤去期間：2025 年 10 月 14 日から 2025 年 10 月 31 日まで
※ただし、天候等で期間中の履行が困難となった場合には、本協会と協議し、対応するものとする。
- ② 浮棧橋等運用業務：2025 年 1 月 6 日から 2025 年 10 月 31 日まで
※ただし公共浮棧橋については、本協会が借り受け後の運用の開始とする。

6. 履行場所

大阪府大阪市此花区夢洲（別紙 1 のとおり）

7. 業務内容

必要な物資を調達し、以下に定める業務を行う。

(1) 設計・設置等業務

- ① 詳細設計業務
護岸に設置されている係船柱を用いて浮棧橋を設置し、本船が使用するにあたり、護岸に与える影響やスロープの強度等の安全性を確保する。また、その安全性を証明する書類を作成し、提出する。
- ② 設置業務
2 基の浮棧橋を設置するとともに、各浮棧橋と護岸の間にスロープを設置する。なお浮棧橋とスロープは強固に留め置くものとする。
- ③ 撤去業務
設置した浮棧橋及びスロープを撤去する。

(2) 運用業務

- ① 安全等管理業務
本協会の設置する浮棧橋と公共浮棧橋において、安全に利用できるよう各種管理を行う。想定される業務は以下のとおり。
 - ・ 業務実施計画、業務マニュアルの策定
 - ・ 業務運営実施報告書の各日作成
 - ・ 浮棧橋における旅客転落防止対策
 - ・ 本船、離着舷時の綱取りおよびタラップ施設補助
 - ・ 旅客誘導業務
 - ・ チケット確認

- ・ 浮棧橋及びスロープ等の日常点検及びに補修業務
- ・ 本協会の設置する待合室、トイレ、スタッフ待機場の構造物目視点検
- ・ 本協会の設置する待合室、トイレ、スタッフ待機場の清掃
- ・ 本協会の設置する夜間タラップ取り外し
- ・ 本協会の設置する管理施設の開錠、施錠

② 調整業務

本協会の設置する浮棧橋と公共浮棧橋において、円滑な利用が行われるよう調整を行う。想定される業務は以下のとおり。

- ・ 本船位置の確認および離着棧時間の調整
- ・ 浮棧橋利用予約管理及び受付業務
- ・ 浮棧橋と公共浮棧橋における管理体制の調整
- ・ 使用棧橋調整

③ 一時避難等

台風避難等の非常時における設置構造物の一時避難等の業務を行う。内容は、港長の指示に従うこと。

④ その他、安全対策上必要な業務

その他、安全対策が必要になった場合は、本協会と別途協議する。

8. 数量、規格等

(1) 浮棧橋

以下の条件を満たし、本船の安全な乗降が可能であること。

① 形状

下記浮棧橋の設置および本船使用の安全性が確認されるもの。

- ・ D.L 4.5mの護岸に設置されている 10t 係船柱を用い、乾舷 1.5mの船舶（総トン数 600t 未満、全長 50m未満を想定）の乗客が安全に乗下船出来るもの。
- ・ D.L 4.5mの護岸に設置されている 10t 係船柱を用い、乾舷 1.0mの船舶（総トン数 100 t 前後、全長 30m未満を想定）の乗客が安全に乗下船出来るもの。

② 塗装

- ・ 上塗り塗装を施してあり、錆等により汚れないもの。

③ 係船索

- ・ 係船索は別紙 2 のように取ることとし、予備として 2 本以上を各浮棧橋に設置されるもの。

④ 係船柱

- ・ 係船柱は、四隅に各 1 個及び長辺に 3 個以上設置されているもの。

⑤ 防舷材

- ・ 護岸側及び本船側への空気式もしくはタイヤを設置されているもの(各 2 個以上)

⑥ 安全対策

- ・上面に滑り止め加工を施してあるもの。
- ・スロープ設置に協力が可能なもの。
- ・乗降時に転落を防止する柵が旅客動線の両側に設置できるもの。
- ・その他安全対策について協力が可能なもの。

⑤ スロープ

以下の条件を満たし、本船の安全な乗降が可能であること。

- ・構造は「交通アクセスに関するユニバーサルデザインガイドライン」を考慮したもの。
(参照：<https://www.expo2025.or.jp/association/maintenance/news-20230630-07/>)
- ・船舶の着岸及び旅客の乗降に支障の無いよう設置されたもの。
- ・タラップが潮汐により護岸に接触することの無いよう、護岸に緩衝材を設置するなどの対策を講じられたもの。
- ・護岸と浮桟橋間のスロープについては、容易に取り外し及び取り付けが出来る構造であるもの。
- ・取り外されたスロープは護岸側から安全に設置できる構造であるもの。
- ・浮桟橋に固定が可能なもの。
- ・台風時には浮桟橋を避難するため、移動時にも安定しているもの。

※配置イメージは別紙２参照

⑥ 管理体制

安全等管理業務及び調整業務に対する体制と業務時間は以下を基本とする。

また業務に従事する者は、綱取り等の業務経験を有するものに限るものとする。

業務場所	人数	業務時間
本協会が設置する浮桟橋	6 人	午前 9 時から午後 9 時
公共浮桟橋	4 人	
	計 10 人	

9. 契約上の注意事項

(1) 譲渡の制限

本業務の遂行については、監督職員の許可なくして第三者に譲渡してはならないものとする。

(2) 提出書類

- ① 契約締結後、安全等管理業務及び調整業務に従事する人員の「作業員名簿」を提出し、本協会の承認を得るものとする。
- ② 契約期間中「作業員名簿」に変更があった場合は、その都度修正版を提出し、本協

会の承認を受けるものとする。

10. 支払方法

賃貸借契約は借入期間の毎月1回払いとする。

業務委託契約は原則履行完了後一括払いですが、毎月1回以内での部分払いを可とする。

11. その他

この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。